



ポイント 2 災害時に発表される避難情報

災害時、市は次のような避難情報等を積極的に発表します。



緊急度



避難情報	状況	取るべき行動
高齢者等避難	災害のおそれがある	高齢者など、避難に時間がかかる人は避難ください。それ以外の人は避難の準備や自主避難をしてください。
避難指示	災害のおそれが高い	安全な建物の2階や避難所などに避難してください。
緊急安全確保	災害が切迫または発生している	すぐに避難行動を完了してください。まだ避難していないときは、安全な建物の2階に避難するなど、生命を守る最低限の行動をとってください。



ポイント 3 災害時の情報収集手段

災害関連の情報は次の方法で発信します。災害時に情報を入手しやすいよう、普段から登録などしておきましょう。



● 三条市LINE
公式アカウント
@sanjo-city



友だち追加



● 三条市X
アカウント名:三条市役所
ユーザー名:@sanjo_city



● メール配信サービス

mail.sanjo-city@raidan2.ktaiwork.jp
空メールを送信して届いたメールから登録してください。



メール送信先



その他

● 防災行政無線 ● 市ホームページ ● アプリ

● 緊急速報メール ● ラジオ

● 自動電話応答サービス

☎35-2600に電話すると、防災行政無線の放送内容を確認できます。

● 高齢者向け固定電話への避難情報配信サービス

避難情報を発令したら、電話をして伝えます。
*行政課☎34-5517 への申し込みが必要です。



FMプラプラ
(燕三条エフエム放送)



アプリダウンロード



NCTコネクト
(エヌ・シー・ティ)



アプリダウンロード

特集

梅雨直前！ 確認しておきたい防災対策

梅雨を迎えるこの時季に、自分や家族を守るための行動を確認しておきましょう。
防災対策のポイントをお伝えします。

行政課 ☎34-5517

確認
しておきたい

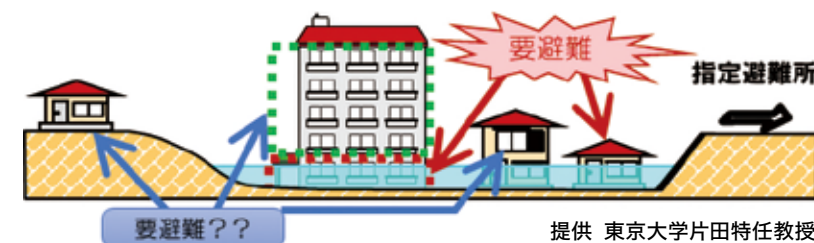
防災対策 3つのポイント

- ① 自分や家族の避難方法・避難場所
- ② 災害時に発表される避難情報
- ③ 災害時の情報収集手段



ポイント 1 自分や家族の避難方法・避難場所

場合によっては、避難所に行くよりも自宅にとどまる方が安全な場合があります。「三条市豪雨災害対応ガイドブック」では、水害時に自宅周辺がどの程度浸水する可能性があるかなどを確認できます。いつ、どこに避難すべきかを確認しておきましょう。



提供 東京大学片田特任教授



三条市
豪雨災害対応
ガイドブックは
こちらから

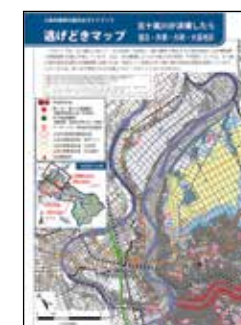


ガイドブックの構成



気づきマップ

信濃川、五十嵐川、刈谷田川などが決壊したときに、自分の住む地域にどのような危険性があるのかが分かります。



逃げどきマップ

信濃川、五十嵐川、刈谷田川などが決壊したときの浸水の深さや浸水が到達するまでの時間が分かります。



逃げどきマップの
判定フロー

自宅の構造や場所から、豪雨時の避難のタイミングや行動指針が分かります。